

宮崎市公共施設等総合管理計画【概要版】

1 宮崎市公共施設等総合管理計画とは...

計画策定背景・目的

【策定背景】

- 公共施設が老朽化、更新時期を迎えます
- 人口減少や少子高齢化による財源の減少が見込まれます

【策定の目的】

◎公共施設の現状や課題、今後、必要となる多額の更新費用などの「公共施設の更新問題」に対する実施方針を明らかにし、将来にわたって、最適な公共施設サービスを提供することにより、市民満足度を高めることを策定目的とします

計画対象施設

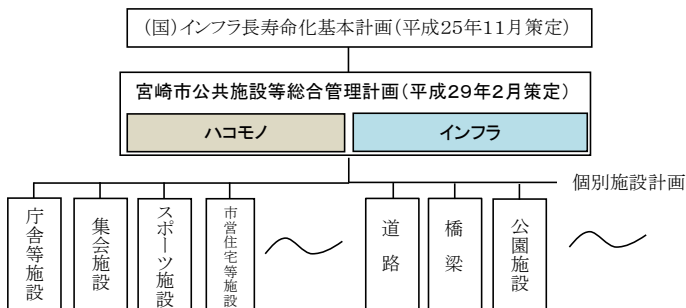
ハコモノ	インフラ
○「庁舎等施設」「集会施設」「図書館・展示施設」「スポーツ施設」「市営住宅等施設」「学校教育児童福祉施設」など	○「道路施設」「橋梁施設」「河川施設」「公園施設」「上水道施設」「下水道施設」

計画期間

平成28(2016)年度から令和9(2027)年度

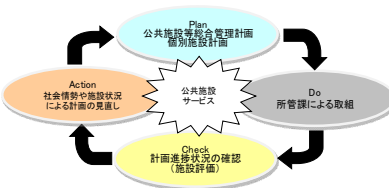
※社会情勢の変化や本計画に大きな影響を与える事情が発生した場合に適宜、見直しを行います。

計画体系図



計画管理

【PDCAサイクルによる進行管理の実施】



※施設評価等を個別施設計画に反映

【全庁的な公共施設マネジメントの推進】

○公共施設等総合管理計画の見直しや進捗状況の確認においては、さまざまな部局・課が横断的に連携する必要があることから、公共施設マネジメント担当課・インフラ施設とりまとめ課・所管課が連携して行います。

○(ハコモノ)毎年度施設評価を実施し、その進捗状況や成果を宮崎市戦略推進会議で検証しながら着実に推進します。

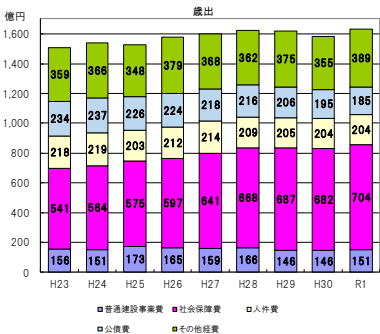
2 現状と課題(①~④の視点で分析)

①市民ニーズの視点・人口減少・少子高齢化

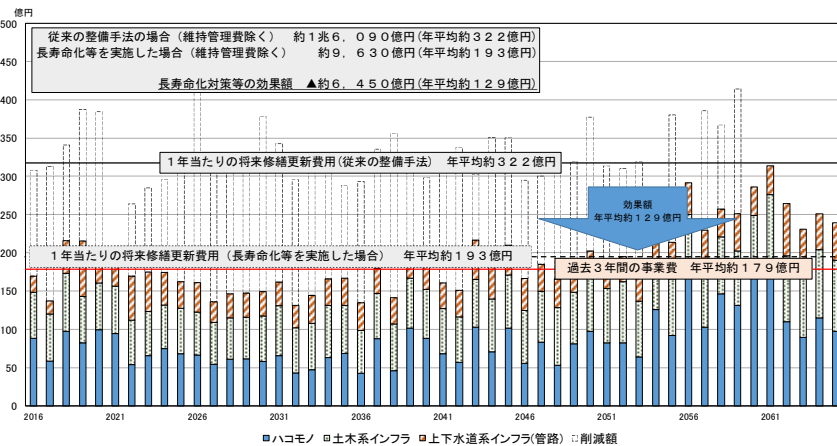
	現住人口	宮崎市の将来推計人口モデル		差出人・%	
	平成29年 2017年	令和2年 2040年	令和42年 2060年	令和22年- 平成29年	令和42年- 平成29年
総人口	399,565	371,739	336,884	△ 27,826	△ 62,681
0-14歳人口	55,451	51,463	51,784	△ 3,988	△ 3,667
15-64歳人口	231,957	191,417	172,550	△ 40,440	△ 59,327
65歳以上人口	105,940	128,859	112,570	22,919	6,630
0-14歳人口割合	13.9%	13.8%	15.4%		
15-64歳人口割合	58.0%	51.5%	51.2%		
65歳以上人口割合	26.5%	34.7%	33.7%		

(注) 平成29年(2017年) 現住人口には年齢不詳を含む

②フロー(財政収支)の視点・社会保障費の増加



③ストック(資産)の視点・更新等に多額の費用が必要



長寿命化等を実施した場合は、従来の整備手法より「年平均約129億円の削減」と試算されました。

④情報管理体制の視点・公共施設全体を的確に把握する必要性

公共施設全体を一つの資産として捉え、共有化・一元化・見える化によって情報を管理します。

3 計画の方向性

【目指すべき経営のすがた】

持続可能な、最適な公共施設サービスを提供し、市民満足度の向上を図る

【施設経営の方向性(経営方針)】

経営方針1「総量の最適化」

ハコモノ・インフラの状況を踏まえながら、市民目線(受益者視点・納税者視点)で最適な量の施設を保有する

経営方針2「質の向上」

施設の長寿命化や維持管理費の縮減、適正な使用料の設定、民間との連携により、市民目線(受益者視点・納税者視点)でコストパフォーマンス(費用対効果)を高める「質の向上」に取り組む

経営方針3「投資の厳選」

限られた経営資源の投資対象となる公共施設サービスを市民目線(受益者視点・納税者視点)で厳選し、経営資源を重点的に投資する「投資の厳選」に取り組む

4 施設分類別の実施方針

【施設分類別の実施方針(ハコモノ・インフラ)】

- ①施設情報の共有化の推進(経営方針1・2・3の基礎)
- ②計画的かつ効率的な「総量の最適化」の推進(経営方針1・3)
- ③公共施設の安全確保(経営方針2)
- ④耐震化・長寿命化の推進(経営方針2・3)
- ⑤維持管理費の縮減(経営方針2・3)
- ⑥民間との連携の推進(経営方針2・3)
- ⑦ユニバーサルデザイン化の推進(経営方針2)
- ⑧適正な使用料の設定(経営方針2)※ハコモノのみ



《ハコモノ》

- 上記①~⑧を踏まえた、学校、市営住宅、集会施設等の実施方針
- #### 《インフラ》
- 上記①~⑦を踏まえた、道路、橋梁、河川施設、公園施設、上下水道施設、下水道施設の実施方針